

交流の輪づくりー地域の魅力を後世へー

〈メンバー〉

地域経営：3年 桑名瞭徳

地域共生：3年 金城奈津希

アート&マネジメント：3年 大木琴寧 佐藤萌

指導教員：祝原豊 板倉美奈子 正木祐史

〈フィールドワーク実施協力者〉

川合花の舞保存会

静岡県立湖北高等学校佐久間分校

浦川キャンプ村

パンプキンレディース

地域概要

佐久間町は1956年、昭和の大合併により1町3村が合併して誕生し、2005年には浜松市と合併したことで現在の浜松市天竜区佐久間町となった。

人口は2502人(令和7年1月1日現在)である。

浜松市北部、天竜川の流域に位置し豊かな自然とそれを利用した「佐久間ダム」や「蕎麦」等の名所・名産が特色だ。郷土を活性化させたいとアクティブに活動する方が多く、NPOや地域団体活動が盛んであり、多くの常設的な活動やイベントが行われている。

その中でも名産品が並び数多くの方が訪れる地域最大のイベント、「フェスタさくま」は新型コロナウイルスの影響で近年はオンライン開催となっていた。しかし、2023年より再び現地開催となり、以前と変わらぬ大きな盛り上がりを見せた。

少子高齢化や前年度のフィールドワーク報告より、113人減少した人口等の問題は存在するが、それに負けず人の温かさを感じ、地域内の交流盛んな一体感のある地域である。



これまでの活動

交流の輪づくり

佐久間巡りやイベントを通して様々な方々と関係を築き、交流を行った。私たち発の活動や魅力再発見、これまで地域で行われてきた活動への参加等、地域の方々と交流の輪を作り、関わりながら活動を行った。

ワークショップ

アワビの貝殻を用いたワークショップや秘密基地いもほりでのワークショップを開催。イベント運営を通して交流の輪を広げ、特産品や自然の魅力等、活動の中で出会った佐久間の魅力を伝える事を重視した。

サクッとさくま制作

観光スポットやグルメ等をまとめた広報誌サクッとさくまを作成。地域の方々へのインタビューや活動内容を掲載し、大学生視点での佐久間の魅力を取り上げている。佐久間地域の図書館や交流センターに設置。

今年度の活動

【パンプキンレディースとの活動】

前年度に続き、パンプキンレディースさんに関わった。ごまちゃんに関するだけでなく佐久間全体の歴史に関するインタビューや、佐久間分校文化祭への出店のお手伝い等を行った。

佐久間分校文化祭では実地の販売によって、ごまちゃんが地域に根付いていることや校文化祭の盛り上がりなどは勿論、パンプキンレディースさんの人手不足等の課題点も自らの肌で感じる事ができた。



【川合花の舞】

佐久間町川合地区に鎮座する八坂神社にて伝承される「川合花の舞」に参加した。

川合花の舞は鎌倉時代に伝わったとされている伝統的な祭りである。四ツや三ツ、榊鬼等と呼ばれる、様々な種類の舞を八坂神社に奉納する。県指定無形民俗文化財にも登録されており、例年多くの人が訪れる。

私たち学生は舞い手と篠笛の吹き手として参加した。足りない人手はポスターやホームページでの声掛け等を通じて、学内から募集し、有志で集まった静岡大学の学生4人と共に9回にわたる事前練習を行い、本番に臨んだ。

10月に行われた花の舞本番では、ボーズカの四ツとおかめの踊りに参加した。吹き手の学生はそれ以外の演目でも笛を担当した。

花の舞の存在を知らない方にその魅力や歴史を伝えるために、映像制作やサクッとさくまの制作 SNS での発信を行った。

【地域学授業】

静岡県立浜松湖北高等学校佐久間分校にて、地域学の授業を行った。佐久間分校では学校指定教科として「地域」の授業が設定されている。3年生は実地での活動（地域実践）、2年生はそれに備えた授業（地域学）を通して地域創生活動を行う。今回は2年生に私たちの活動を通して成功・失敗体験についての講義と活動の中で得た議題を基にファシリテーションを行った。結果的に分校の生徒、フィールドワークメンバー双方に学びのある場にする事ができた。

今回の授業の議題として協力していただいた浦川キャンプ村には生徒と考え出した案を共有させていただいた。



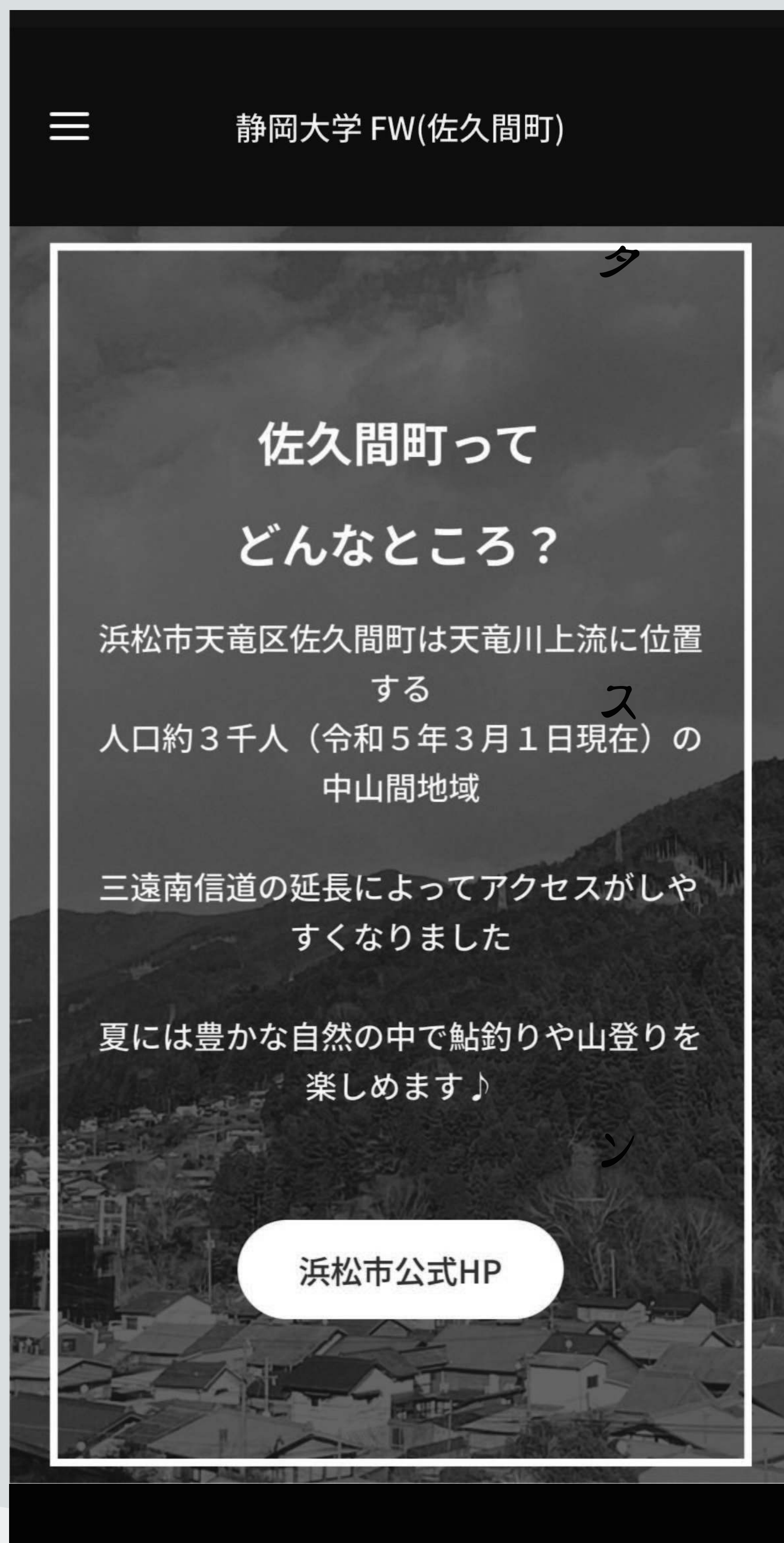
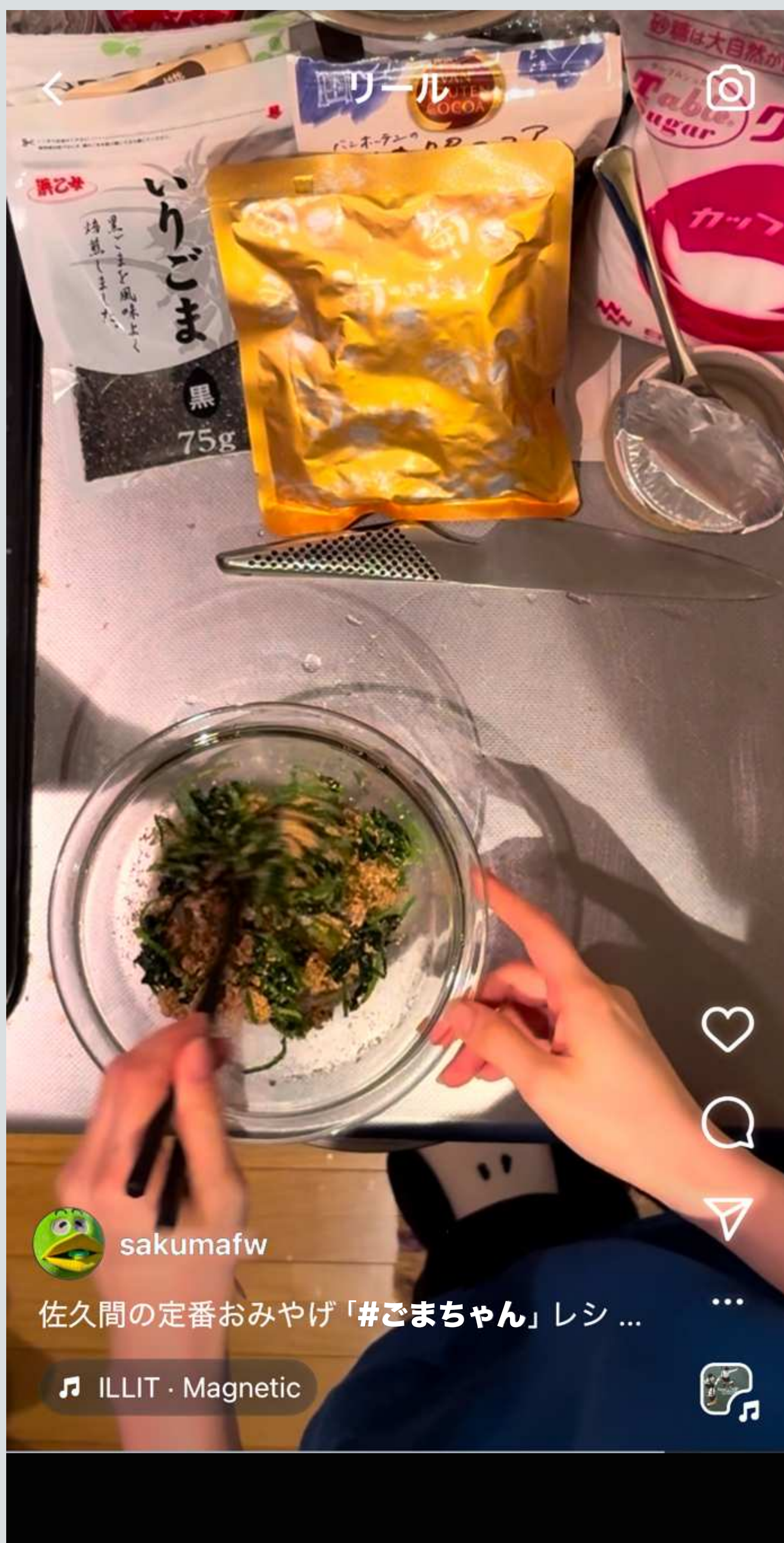
【広報活動】

例年制作・刊行しているサクッとさくまを今年も刊行。前期には昨年活動した秘密基地いもほりでのワークショップの様子を特集した。後期には、パンプキンレディースさんとごまちゃんを特集。そしてこれまでの活動を締めくくるサクッとさくま最終号を制作し、佐久間地域への配布、SNSでの発信を行った。



グ

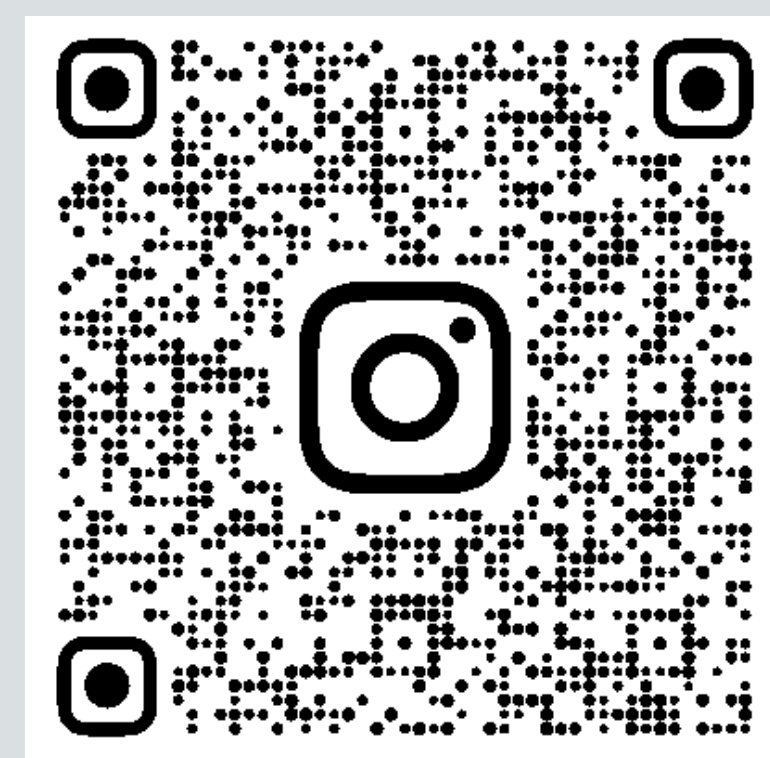
1



イ

また今年度はホームページの開設を行った。花の舞のボランティアを募集することを目的として開設したが、現在は佐久間フィールドの活動や花の舞等を紹介するサイトとして運営している。

そして例年、発信頻度が少ないとして反省点としてあがっていたSNSでの発信も盛んに行なった。花の舞の舞い方解説動画や、佐久間の定番土産ごまちゃんのリシピ動画、サクッとさくまデジタル版の発信等を行い、佐久間の魅力を外部に発信することができた。



ホ

総括

今年度は前期後期を通し、活動量と比例し得るものも多かったように思う。前期にはパンプキンレディースさんとの活動と花の舞分校授業の計画を並行して立案。夏休み中に授業計画やボランティア募集ポスターの作成、後期に入ってから花の舞の事前練習それを踏まえての本番、2コマ100分の授業組み立て、本番等。

昨年まではいもほりに焦点を当てる等、比較的ひとつのことに力を入れる形式のフィールドワークであったが、本年は対象が増加したこともあり静岡市内などでの活動の機会も増加した。そのなかでも地域との関わり方や、自分たちの「佐久間の魅力を伝えたい・残したい」という原点に立ち返ること、社会と関わる中での事前準備の重要性など様々なことを考え、学ぶことができた。

このフィールドワークは、授業としては今年で終わってしまう。しかし、佐久間の方々、魅力を知ってくれた地域外の方々、そして私たち静岡大学生の交流の輪を繋いでいきたい。